

平成13年度事務事業評価表

課長	担当

担当	建設部	土木港湾課	庶務担当	内線等	2255
----	-----	-------	------	-----	------

事業コード		事務事業名	河川浚渫整備事業
根拠法令等	河川法第100条		A法令

総合計画での位置付け

基本目標

施策名

快適でやすらぎのあるまちづくり	河川・排水路
-----------------	--------

事務事業の内容

対象	河川流域生活者に対し
手段	河川の浚渫整備をすることにより
想定する成果	河川の流下能力を高め、水害防止を図る。

事業の概要

項目	平成12年度実績	平成13年度実績	平成14年度計画
浚渫延長(m)		1,327m	1,200m

目標値

成果指標名	整備率
成果指標の説明	浚渫延長(m) / 計画延長(m) × 100 計画総延長 9,130m (~ 5年事業)

事業の進捗状況

		平成12年度決算	平成13年度決算	平成14年度予算
目標値	計画		27.4%	51.8%
	実績		14.5%	
事業費	事業費		15,007,650円	14,000,000円
	人件費		334,320円	339,880円
	(人数)		0.04人	0.04人
	合計		15,341,970円	14,339,880円
財源内訳	国			
	県			
	市債			
	その他			
	一般財源		15,341,970円	14,339,880円

事務事業内容の評価

項目	課内評価点数	部長評価点数	評価の説明（問題点）
達成度	10	3	財政難により目標どおり進捗していない。
効率性	10	6	投入された予算に見合った成果をあげている。直営による測量設計で委託費の節減に努めている。
公共性	10	10	河川管理者として実施すべき事業
緊急度	10	10	市民の生命、財産を守る事業であり、緊急度は大。集中豪雨、台風等を考えると早期整備が求められる事業。
小計	40	29	
市民参加度			
合計	40	29	
総合評価	A	B	蒲都市管理の河川の内、主な10河川について5年をサイクルとし、整備を進めているが、毎年度の投資額に限界があり、目標どおりに進んでいない。5ヵ年計画の前半に危険度の高い河川への事業投資が必要。

これまでに実施した改善点

達成度	目標予算の確保が困難なため、限度内予算で危険度の高い所を選択し投資効果を図った。
効率性	直営による測量設計を実施し、経費の節減に努めた。
公共性	
緊急度	
市民参加度	

今後の改善すべき点

達成度	5ヵ年計画の見直し、ローリングが必要。緊急度の高い河川は前倒ししてでも事業費投入の必要あり。
効率性	
公共性	
緊急度	浚渫の実施時期を台風期前に完了させるべく検討が必要。浚渫サイクルを5ヵ年としているが、浚渫後の堆積状況を観察し、河川別のサイクル年数の検討が必要。
市民参加度	